

# デジ教研アンケート 議論ウォール 34

## 【質問】

保護者から「学習者用デジタル教科書を使って授業をしてほしい」という声が起こるための条件は？

デジーです。よろしくね！



(c)hayashi emiko

みんなのデジタル教科書教育研究会  
Facebookグループ

【質問】保護者から「学習者用デジタル教科書を使って授業をしてほしい」という声が起こるための条件は？

---

### 第34回アンケート議論ウォール

ウォール投稿数：20件

(投稿された書き込みについては、同一人物等の連続投稿などを読みやすくしています。そのため、投稿に振られた番号と投稿数が一致しないことがありますことをご了承下さい。)

アンケート回答延べ数：108人（複数回答）

サマリー制作：池田順一、薄墨桜

(議論開始 2012.1.10 20:49)

<https://www.facebook.com/groups/dkyof/306183522757221/>

#### 【質問】

保護者の方々に「我が子の学校で、学習者用デジタル教科書を使って授業をしてほしい」という声が起こるためには、どのような条件が必要だと思いますか。プレスト的にアイデアをお願いいたします。（複数回答可）

#### 【回答数】

無料で端末が国からもらえとなったとき	15票
学力が上がるという情報（報道）が多くなったとき。	20票
近隣の学校でデジタル教科書を使用したら学力が上がったと聞いた。	12票
保護者自身が児童と同じコンテンツやツールを体験して楽しかった経験を持ったとき	10票
塾などで先行導入され実績が出て、なぜ学校にはないのかという声があがる	6票
学校が良さを情報発信すること	6票
家庭や大学、企業でのタブレット利用が広く認知されたり普及したとき。	8票
まわりの学校が皆使っているのに自分の学校だけ使っていない。	7票
進学後など、将来的に有利という情報（報道）が多くなってきたとき。	7票

低所得者層は無料。それ以外も安価で入手できる。	5票
保護者の方に実際に触っていただく機会を増やすことで、デジタル教科書のもつ魅力を感じていただくこと。	5票
入試に、デジタル教科書などの持ち込みを前提とした試験を行うこと。	3票
デジタル教科書を使うことで身につくスキルが、その後の生活のどんな場面で生かされるのか、イメージしやすい事例を様々な形で紹介すること。	2票
視力低下などの健康上の問題が無いことがはっきりすること	2票
女性週刊誌で、「デジタル教科書がいらしい」という特集	

### 【投稿】

**001** 保護者の声的重要と思いますが、現在は全くそこまでいっていませんよね。「本当に必要だ！」と、あちこちから声上がるには、何を克服しなければならないんでしょうね。アイデアを追記してください。

**002** 「実績」が見えることという意味でやはり周辺情報が出てくると、日本人の「横並び意識」みたいなもので身近に事例が出てくればなぜウチの学校には入らないのかみたいな声も出てくるのかも。

**003** (\*1)フューチャースクールの近隣校の保護者の反応はどうなんでしょうね。というか、フューチャースクールの保護者は喜んでいるのかな？

**004** フューチャースクールの保護者の声を聞きたいですね。研究成果もいいけど、それを親はどう見ているのか、評価しているのか、気になります。

**005** 葛飾区は越境入学可能ですが、本田小学校（葛飾区）がフューチャースクール実施後に1クラス増えたようです。実施前は定員割れでした。 デジタル教科書や(\*2)タブレットPCのおかげなのか、先生方の取り組みのおかげかは分かりませんが、地域でのクチコミ効果だと思われます。  
...葛飾区在住の同僚(母親)の話より

**006** >(005)さん 情報ありがとうございます。なるほど、学校選択制だとはっきりと結果が出そうですね。もし私だったら、やはり、近くの学校だったら越境も考えそうですね。もちろん、デジタル教科書のハードだけで他の教育の質が低ければそうはいきませんが。

**007** なるほど！というアイデアがたくさん出てきました。ありがとうございます。引き続き募集します。

**008** 修論で参考にした調査研究でも、すでにICT機器を導入している学校群としていない学校群では、校務情報化の効果への期待の大きさが違うという結果がありました。デジタル教科書でも、使ってみないと良さが分からないというのは大きいでしょう。だからこそ、フューチャースクール等の親の満足度などがデータとして示されることを望みたいです。

**009** デジタルとアナログがバランスよく活用されているかを見ます。その結果従来以上の学力や各種能力が養われる、というのが理想です。

例えば、鉛筆で書いて覚えて、ICTで情報を収集し、学習を記録保存して、友達同士で身体や機器で議論しあう。

このバランスを強く望みますね。

**010** 僕は、まず、保護者の方々に実際に触っていただく機会を提供することが必要だと思っています。ICT関係の用語を使ったりせず、どんなにワクワクするのかを感覚的に感じていただくような機会が今後増えていけばと思います。そして、技術的なことや学力とかの話は置いておき、デジタル教科書を使って学習するときに、学ぶことができることが、その後の生活や仕事の中で、どんな風に生かされて行くのかをイメージしやすいPV（プロモーションビデオ）などを制作し、「こんなすごいものだから！」と言わなくても、思わず、これを使って学びたいという気持ちを感じてもらえることを期待しています。そこから始めてみるといいと思っています。

**011** (010)さんに賛成です。「効果」は結局「感覚的」なものなのかなと思います。「学力」にこだわると、学力の向上を人的・物的環境や方法論的なものに切り分けて検証する困難さを克服できないまま時間ばかりが過ぎていくような気がします。

**012** うちの子供の小学校では、参観日に、購入教材を実際に見るブースのような机を1個出して裁縫道具セットや習字道具セットなどをおいて居られるのですが、やはりそこには保護者が集まりますね。

**013** 母親のリサーチを続けてて面白いことに気付きました。

母親にとっての興味は、「デジタル教科書＜タブレットPC」のようです。いままでずっとデジタル教科書を主体に考えていたので、タブレットPCを主体に考えている人達がいることが新鮮です。

保護者は「デジタル教科書で授業してほしい」とは、なかなか思わないのかもしれませんがね。

**014** >(013)さん ここでおっしゃっている「デジタル教科書」とは、電子黒板に写す「指導者用デジタル教科書」のことですか？

**015** >(013)さん もし「デジタル教科書」が「指導者用デジタル教科書」を指すのであれば、そのご報告は、よく考えれば自然であり、同時にとても新鮮ですね。  
なぜなら、そういえば、電子黒板を保護者はイメージしづらいけど、タブレットPCならイメージしやすいなあ、と。

**016**(=013) >(014)さん、(015)さん、返答が遅くなりすみません。(\*3)学習者用デジタル教科書のことです。

「デジタル教科書」と言われても画像ファイルのようなイメージでしか捉えていないため、デジタル化するメリットが思い浮かばないようです。タブレットPCならドリルや調べ物など新たな用途をイメージできています。

「中学生なら紙の教科書持って帰ってこないから、デジタル教科書なら(PCごと)持って帰ってくるのでメリットがある」という意見はありました。

私の周囲にいる母親に聴いただけなので、片寄った意見かもしれませんが。

**017** なるほど！イメージが持てないのですね。それは、大事な着眼点ですね。そういうイメージを保護者に伝えるにはどうすれば良いか、考えたいところです。

**018** 保護者、特にお母さん方は基本的にIT機器に弱いし疎い、しかも関心もあまりないものです。ですが、子供の教育ツールと言う事なら話は別。特に、隣の市は導入されているのにうちの市は導入されていないなどとなると、目の色変えて息巻く生き物です(^\_^;A  
そこに家庭負担額などはそれほど影響は無いように思います。もちろん、安いに越した事はないでしょうけど。

私が思う、保護者を巻き込むポイントは

- ・ 模擬授業の風景を保護者に見せる機会を増やす  
→親に触らせても良さがわからない可能性があります(^\_^;A  
子供たちの目がキラキラ輝く様子を見せれば十分だと思います。
- ・ 試験導入校を増やすより、試験導入クラスを全校に  
→課題も多いですし難しいとは思いますが、隣のクラスは持っているのにうちのクラスは持ってない→早く全クラス導入しろ！と必ずなります(^\_^;A
- ・ 家庭の年間負担額は出来るだけ少なく  
→最終的に全額負担であっても、年間負担額を少なく出来ればなんとかやりくり出来る→導入！となるような気がします。

**019**この質問が前から気になっていまして、遅ればせながら書き込みます。

「デジタル教科書を使わせたい」と思わせるには、デジタル教科書が子どもが将来にわたって生きていくために必要な力を身につけるためのひとつのツールとして必要不可欠なものである、ということ保護者が感じるような気がします。（保護者だけじゃないけど）

日本は他国と比較してデジタル教育で遅れをとっていると言えます(\*4)し、国際的に求められる学力や能力というのは、一昔前とは違ってきているというデータや時流をいくらでも明示できます。デジタル教科書の使用に限ったことではありませんが、情報の検索力やそれらを使ったプレゼンテーション力、幅広い表現など、デジタルを駆使しないと思考や感覚が育たないという危機感を多くの保護者に持たせ、そういった根底上、デジタル教科書が必要なのである、という話に結び付けてはどうでしょうか。「使う素晴らしさ」を強調するよりも、「使わない危機感」を指摘することのほうが、訴える力があるのでは？と思うのです。

で、その前提があると、使うによりよい環境を整えるにはどうしたらいいか、どう改善していけばいいか、子どもがより学習しやすくするにはどうしたらいいか、ということを使いながら見定めていけるのではないかと思います。

**020** 保護者の方へのプレゼンやデモはとても大切だと実感しています。

私は、本年度は研究授業や研究データの収集が多かったこともあり、保護会で実際の電子黒板やデジタル教科書を使った授業の様子ビデオを見せたり、国の政策の説明、学習効果、そして、デジタル教科書やiPadの体験等を行いました。

さらに、学校公開と区の情報教育推進研修会を抱き合わせにし、保護者の方にも私の研究授業を参観していただき、区や都でも導入を進めるために動いており、研修を重ねていることを実際に見ていただきました。

その結果、保護者との会話ではデジタル教科書の話をする事も多くなりましたし、非常に好意的に受け止めていただいています。個人面談で、実際にiPadをもってきて、うちではこう使って学習していますなんて楽しそうに話してくださる方もいたり、実は、仕事でEラーニングに携わっていて・・・これからは子どもたちにすごい大切ですよ、なんて話をしてくださる方もいたり、たくさんの保護者の方とICT活用、これからの子どもたちに求められる力についてお話をすることができています。

2012.1.21. 1:12 終了

【参考ウェブページ searched by デジ教研facebookグループサポートチーム】

## \*1 フューチャースクール

総務省が平成22年度から開始した、『ICTを使った「協働教育」を推進するため、ICT機器を使ったネットワーク環境を構築し、学校現場における情報通信技術面を中心とした課題を抽出・分析するための実証実験』のこと。

平成22年度には公立小学校10校の担任や児童に1人1台のタブレットPC、全ての普通教室へのインタラクティブ・ホワイト・ボードの配備、無線LAN環境、クラウド・コンピューティング技術の活用等によるICT環境が構築され、様々な実証が行われた。

平成23年度には、中学校及び特別支援学校を実証校に追加するとともに、モデルコンテンツの開発等を行う文部科学省「学びのイノベーション事業」と連携して、同一の実証校で実証研究を行った。

### 参考資料

総務省 | 教育情報化の推進 | フューチャースクール推進事業

[http://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/joho\\_tsusin/kyouiku\\_joho-ka/future\\_school.html](http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/kyouiku_joho-ka/future_school.html)

「教育分野におけるICT利活用推進のための情報通信技術面に関するガイドライン（手引書）2012」の公表

[http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/01ryutsu05\\_02000020.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu05_02000020.html)

総務省フューチャースクール推進事業・文部科学省学びのイノベーション事業 - NAVER まとめ

<http://matome.naver.jp/odai/2133802192956345001>

## \*2 タブレットPC

一般に「タブレット端末」といえば板状の端末、iPadのようなものを指す。

しかし、フューチャースクールで使っている「タブレットPC」は、液晶画面を使った手書き入力やタッチパネル入力を備えたノート型パソコンで、キーボード、手書き入力、ソフトキーボードの入力方式を備えている機種が採用されている。

東日本

[http://www.toshiba.co.jp/about/press/2010\\_07/pr\\_j0101.htm](http://www.toshiba.co.jp/about/press/2010_07/pr_j0101.htm)

西日本

<http://www.fmworld.net/biz/fmv/lifebook/0910/t8190/> をカスタマイズ

いずれもモニター部分を回転させることができる。

## \*3 学習者用デジタル教科書

「\*2」のような何らかの端末を全児童・生徒が1人1台持つもの。教室の前の電子黒板（大型テレビやプロジェクタ等）に提示するタイプは「指導者用デジタル教科書」であり、児童・生徒が手元に1人ずつ持つものかどうかの違いがある。また形状はフューチャースクールのようなキーボード付となるかiPadのようなタブレットタイプとなるか、それ以外のタイプとなるかは技術動向次第で、確定されるものではない。

#### \*4 諸外国のデジタル教科書の動向

「教科書の電子化に横たわる課題（小寺信良）」（2011年3月22日）によると、

<http://plusd.itmedia.co.jp/mobile/articles/1103/22/news008.html>

「ウルグアイでは完全移行済み、米国も州によっては移行済み、フランスが今年(2011)完全移行、シンガポールが来年(2012)、韓国が2013年に完全移行する」とある。引用文の（）内は編者が挿入。

しかし、情報が若干古いことと、他の情報を探すと導入レベル（初等教育なのか中、高等教育なのか）の違いや、実験・プロジェクトレベルのものと本格導入が混ざっていたりするので、一概に上記のスケジュールで進んでいるかは不明確。たとえば韓国についてはこの稿を書いている時点（2012年8月）では「2015年までに完全移行」という情報もある。なお、上記国以外にはオーストラリア、カナダ、イギリスなどもICTの重要性を意識した取り組みを行っている。

また、米国のNPO法人が途上国の子供たちに学習手段を提供することを目的としたプロジェクトを立ち上げている。

「途上国の子供達へ、100ドルタブレット「OLPC XO-3」発表へ」（2012年1月7日）

<http://applio.com/news/20120107-1326-olpc-outs-xo-3-0-tablet>

米マサチューセッツ工科大学のニコラス・ネグロポンテ教授が立ち上げたもので「100ドルタブレット」とも呼ばれる。ウルグアイや、ペルー、メキシコ、エチオピア、ルワンダ、ハイチ、カンボジア、インドなどでの展開が予定されている（または実施済み）。

※この議論に意見・提案・追加などがありましたら、冒頭のリンク先のfacebookのグループに入り、ご参加ください。なお、継続議論分がこのドキュメントに反映するかは未定です。

## デジ教研アンケート議論ウォール 34

<http://p.booklog.jp/book/53741>

著者 : digikyoken (「みんなのデジタル教科書教育研究会」facebookグループ)

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/digikyoken/profile>



クリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 改変禁止 2.1 日本 ライセンスの下に提供されています。

<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/2.1/jp/>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/53741>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/53741>

電子書籍プラットフォーム : ブックログのパー ( <http://p.booklog.jp/> )

運営会社 : 株式会社ブックログ